

振袖を あきらめない 二十歳へ



愛の振袖

10年間気づけなかった自分を責めました。

それは今年（2026年）の1月12日、吹田市・吹田市教育委員会主催の「二十歳を祝う式典」でのことでした。本市が誇るスタジアムに集まった2,900人の若者。女性の多くは、定番の振袖姿。眩しい晴れ着姿に親御さんの感慨はいかばかりだったことでしょう。色とりどりの祝典は例年どおり大いに盛り上がりました。

しばらく華やかな会場を見渡していた私は、振袖以外の女性がほとんどいないことに気づきました。もちろん成人の日には振袖がつきものですが、以前はもう少しスーツや洋装の女性がいたと記憶しています。

そしてこの同調圧力の高い場に振袖以外ではなかなか来られないよな、と思った次の瞬間「今日欠席した約500人の女性のうち、何人かは振袖を用意できなかったのでは？」と気づいたのです。

何人かの二十歳代の女性職員に聞いてみました。「ほとんどがレンタルで、最低でも20万円はしますね。私の友人は母子家庭だったんですが、母親に『どうしても当日は用事があって成人式には出席できない』とウソをついて、その費用を弟の大学の入学金にまわしてもらったと聞きました。」との話を聞き、本当に心が痛みました。

市は「振袖で来てください」なんて伝えていませんが、そのような社会の風潮の中で式典を主催する私は、なんと残酷な行事をしているんだろう、と気づいたのです。

気づいたことを実行に移さないことを不作為（ふさくい）と言い、私が最も嫌うことです。そして以下のように決めました。

- ① 「二十歳を祝う式典」に行きたいが、振袖を用意するのが困難な方に20万円を補助する
- ② この話を知って心が動いた方々にご寄付をお願いする
- ③ 寄付者、補助を受けた女性が知られないよう配慮する

対象者が50人程度だと仮定すると約1,000万円が必要です。

つきましては、下記の口座に“思いを込めた”寄付金の振り込みをお願いします。

来年の式典では、参加をあきらめかけていた女性が一人でも多く来てくれることを願っています。

失われかけている笑顔を取り戻してあげたい、その一心です。

吹田市長 後藤圭二

（寄付振込先） りそな銀行 千里支店 普通 0348639 吹田市二十歳を祝う式典実行委員会
吹田市二十歳を祝う式典実行委員会（吹田市教育委員会事務局 地域教育部青少年室内）

TEL：06-6816-9890 Mail：seshonen@city.suita.osaka.jp

※寄付金を振込後に、御一報いただければ幸いです。